

静岡赤十字病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

承認番号 研究課題名	NO 2024-36 慶應義塾大学外科・関連多施設ならびに全国多施設における大動脈瘤治療を解析する観察研究
当院の実施責任者及び 職名	静岡赤十字病院 血管外科 部長 新谷 恒弘
多機関共同研究の場合 研究代表（責任）者	なし
研究期間（西暦）	当院倫理委員会承認後～2030年3月31日
対象期間（西暦）	2007年4月1日～2030年3月31日
研究の目的	大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術(Endovascular Aneurysm Repair; EVAR)は、従来の人工血管置換術と比較し、低侵襲であり、急速に普及している。世界では1991年に初例が施行されてから、既に20年以上の歴史があり、数々の解析が行われてきている。その一方、日本ではEVARが2007年に初めて施行可能となったこともあり、文献検索を行っても、長期成績を含め、解析が行われたものはわずかしかない。しかしながら、日本人を含めアジア人は、解剖学的にも、さらには凝固能的にも欧米人と大きく異なるため、欧米におけるエビデンスがそのまま適用されない可能性もあり、日本におけるEVARを詳細に解析する重要性は極めて高いと考えられる。そこで今回われわれは、慶應義塾大学外科関連多施設におけるEVARの特徴およびその成績を検討するために、開腹手術を含む大動脈瘤治療全症例を、共通の台帳を用いて詳細に解析する。慶應義塾大学外科関連多施設において施行された大動脈瘤治療を解析し、EVARを中心に、その特徴および成績を検討することで、医療の質の向上に役立て、患者に最善の医療を提供することを目指す。
研究の内容	慶應義塾大学外科関連多施設において施行された大動脈瘤治療は、全例共通の台帳に記載されている。そこに記載された情報を、統計学的手法を用いて解析する。
個人情報の取扱い	研究成果を国内、海外の学会や論文として発表させていただくことがありますが、個人の特定につながる病歴などの要配慮個人情報は一切公表いたしません。

問い合わせ先
(拒否等受付窓口)

【研究担当者】

所属：静岡赤十字病院 血管外科
氏名：新谷 恒弘
住所：静岡県静岡市葵区追手町 8-2
電話：054-254-4311